

1 学校教育目標

知・徳・体の調和を図り、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
— 「いさわ」のよさを生かした教育の創造 —

2 校訓

「かしこく」 「やさしく」 「たくましく」

3 めざす学校像・子ども像・教職員像

(1) めざす学校像

子ども、教職員のひとみが輝き、ともに学び、ともに伸びる学校

(2) めざす子ども像

- 自ら学び、考え、自分のよさを伸ばす子ども
- 自分も友達も大切にする子ども
- 心も体もたくましい子ども

(3) めざす教職員像

- 子ども一人ひとりを大切にする教職員
- 学び合い育ち合う教職員
- チームワークを大切にした教職員

4 学校経営の基本方針

- (1) 全教職員の創意を結集し、職務への厳正さの中で和のある学校運営を行う。
- (2) 学校教育目標をすべての教育活動の中に具現化し、児童の「人間力（生きる力）」育成に努める。
- (3) 全教職員が人権尊重社会実現の主体者として、温かみのあふれる学校づくりに努める。
- (4) 学級（学年）経営を充実させ、一人ひとりが輝く学級（学年）集団づくりに努める。
- (5) 家庭や地域との連携を図るとともに、特色ある学校づくりに努める。

5 本年度の取組

[☆] 本年度の重点目標

(1) 児童の健康・安全を守る取組の推進

マスク着用，手洗いや換気など，基本的な感染症対策の指導を徹底するとともに，新型コロナウイルス感染症の感染防止等，学校や家庭における保健管理や環境衛生を良好に保つための取組を推進するとともに，教職員の危機管理意識のさらなる向上を目指す。また，いじめ防止への取組や登下校時の安全確保等，児童が安全・安心して学校生活を過ごせる環境作りに取り組む。あわせて，コロナウィルス感染に関する差別行為や差別意識・偏見などへの徹底した指導を行う。

(2) 授業改善の推進による確かな学力の向上

学習指導要領の趣旨に則り，学校内外のあらゆる教育資源とGIGAスクール構想による一人一台のタブレットをはじめとするICT機器を有効に活用し，児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し，学力向上と定着を一層図る。

(3) 学校全体で取り組むポジティブな行動支援の推進

全ての児童を対象に「望ましい行動」が身につくよう指導し，その行動ができた際には「賞賛・承認」とともに，わかりやすい授業を行う等，適切に行動しやすい「環境を整える」ことを通して，児童の望ましい行動を増やしていく取組を積み重ねていく。

また，本校児童が，学習及び生活するうえでの「心得」とする「5つのきまり」を行動目標として位置づけ，その実現に向けて，全校で取り組むことを通して，児童の「自信とやる気」を育成する

(4) 「学校の在り方」の改革・改善の推進

学校行事や校務内容の精選，ICT機器の効果的な活用をとおして，教職員の業務改善を推進し，ワークライフバランスの実現を図り，「働き方改革」を実現する。

(5) 関係機関との連携

コミュニティスクールの導入に伴い，今まで以上に地域・保護者との連携を深めるとともに，阿波図書館，読み聞かせボランティアをはじめとする関係機関との連携を密にし，より教育効果が発揮されるように努める。